

# 町田地区保護司会だより

第97号

発行 町田地区保護司会  
会長 平本 章一  
編集 広 報 部  
TEL 042(794)6791



自由民権資料館



## 二期目を迎えて

町田地区保護司会 会長 平本 章一

総会を終え、新たな年度に入りました。二年間保護司会の中核で活動に関わり、さまざまな体験をさせて頂きました。東京都保護司会連合会では行政との関わり方の違いや、東京保護観察協会と南多摩保護観察協会の仕組みの違いを勉強しました。多摩地区保護司会連絡協議会は、9地区の保護司会で構成されております。1保護区1行政は、八王子、府中、町田の3保護司会だけです。他の保護司会は、複数の市町村で構成されております。

多摩地区保護司連絡協議会では、保護司会の運営方法や、活動の在り方の違いを学びました。町田地区保護司会においても、活動の主役である分区をフォローする仕組みを、充実させる必要があると思います。保護司相互の情報交換の場である「地域処遇会議」を活用し、効果的な実践活動につなげるよう指摘されております。

昨年発足した「談話室」を有効利用したら良いと考えております。

今年度の重点目標の一つが保護司発掘です。今後任期満了による退任保護司は、平成35年までに41名になります。ピークは平成32年の7名です。年度別退任予定者を事前把握し、情報を共有し新人の発掘に努める必要があると同時に新任保護司への情報伝達に努める必要があると思います。

サポートセンター町田という、活動拠点が出来7年が経ちます。自宅を活動拠点にしていた時代は終わりました。個の時代から脱皮し、組織で活動、行動できる体制を充実させて行かなければならぬと思います。組織を預かる一員として、次代を担う人材の育成にも配慮する必要があると考えております。新任保護司は必ず分区に配属されます。地区会も折に触れる分区の情報を共有し、人材の育成に協力できるよう努めたいと思います。



## 「就労支援の充実を目指して」

東京保護観察所立川支部長 南元 英夫

町田地区保護司会の皆様には、犯罪や非行のない安全・安心な地域作りのため更生保護の諸活動に御尽力をいただき、誠にありがとうございます。

保護観察の係属性数が、立川支部管内全体で昨年度1年間に51パーセント以上減少する中、町田地区では年度当初の件数が75件から90件へと大幅に増加しており、皆様に御負担をおかけしております。

さて、昨年度、町田地区においては保護司会のバックアップにより協力事業主会が設立されました。本当に心強く、深く敬意と謝意を表する次第です。かつて保護観察における就労の援助は、協力雇用主の善意にすがるしかなものでした。平

成18年度に厚生労働省や矯正施設等との連携による就労支援事業が始まり、その後、協力雇用主の数は大幅に増加しましたが、実際に協力雇用主に雇用される保護観察対象者はごく少数にとどまるのが現状でした。今般創設された刑務所出所者等就労奨励金支給制度は、保護観察対象者等を雇用し、就労の継続のために必要な技能や生活習慣等を習得させるための指導や助言を行ってくださる協力雇用主に対して支給されるものです。この制度が大いに活用され、一人でも多くの対象者が就労を通じて「居場所と出番」を獲得し、善良な市民の一員として社会復帰を果たしていくことを期待しています。



## 犯罪のない街づくり

町田警察署長 下田 進一

5月26日午前、三輪緑山一丁目のマンションの一室に71歳の男性が刃物を所持して立てこもる事案が発生しました。また、6月3日午前、忠生一丁目の都立町田工業高等学校に「爆弾を仕掛けた」との電話があり、500人に上る生徒や職員を避難させて校内を検索する事案が発生しました。これに乗じて、短文投稿サイト・ツイッターに「爆弾を仕掛けた」と書き込みした17歳の少年と、同校に電話を掛けた54歳の女性を捜査して、それぞれ威力業務妨害罪で通常逮捕しました。

犯罪は、時と場所を選ぶことなく発生しますが、大惡であるか小惡であるかを問わず、警察が任務を確實に果たさなければ、他に頼るところのない市民の方々は救われません。

しかし、最近、管内で発生した事件を見ても、犯罪や非行に陥る人は、老若男女の別を問わないことから、その更生に携わる保護司の皆様の対応は、複雑かつ困難なものと推察しており、無私のお志と御労苦には、心から敬意を表する次第です。眞の意味で「犯罪のない街づくり」の取り組みを進める上では、警察が進める防犯活動や犯罪撲滅に加え、皆様方との連携がなお一層重要になると思います。変わらぬご協力を願いいたします。



## 地域に根付いた活動を目指して

南大沢警察署長 井上 明仁

本年3月2日付で、鉄道警察隊長から南大沢警察署長に着任いたしました井上でございます。

町田地区保護司会の皆様方には、日頃より警察業務の各般にわたり温かいご支援、ご協力賜っておりますことに対しまして厚く御礼申し上げます。とりわけ青少年の健全育成につきましては昼夜を分かたぬ献身的な活動をなされていることに、心から敬意を表します。

当署は、町田市と八王子市の二つの自治体の一部を管轄する、警視庁で最も新しい警察署として平成21年に開署し、6年が経過いたしました。

第五代署長として署員と共に「地域住民の声に耳を傾け、期待に応える警察活動」を目指し、地域の皆様と連携して地元に根付いた活動を進めていきたいと考えております。

青少年の健全育成につきましても、保護司の皆様とのより深い絆を構築し、共に手を携えながら活動し、少年の規範意識の向上と、非行少年等の立ち直り支援を積極的に実施してまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

結びに、町田地区保護司会の益々のご発展と、皆様方のご活躍を祈念し挨拶とさせて頂きます。

## 平成27年度定期総会

## 活動基盤整備と骨太な保護司活動

4月24日午後3時から市民ホール会議室に於いて平成27年度定期総会が開催された。総会出席者77名、委任状16名。開会に先立ち物故会員米山方雄氏と宮田博之氏に黙祷を捧げた。

司会は嶋崎了一副会長。平本会長は、この2年



平本璋一 会長挨拶

間の目標であった三本の柱について報告した。まず保護司発掘については5月には合計102名となりほぼ定数を回復できる見込みである事。次にサポートセンターの機能向上と関係機関・団体との連携は「協力事業主会」の立ち上げ、更生保護施設「鶴舞会」、青少年健全育成地区委員会協議会等との交流がスタートした事。三本目の柱については「会則研究会」をスタートさせ情報の共有の為、情報連絡のスピードアップを図り発信に努めている事であった。最後に「保護司制度の現状と課題」を引用し、保護司確保は都市部で充足率が低く早期退任保護司では「家族の理解が得られない」「対象者の指

導に自信がない」等の問題がある。保護率は減少傾向にあるものの薬物を含む複雑なケースが増加している等現状と課題を話して「自らの活動基盤整備と骨太な保護司活動を!」と呼びかけた。



会場風景

続いて宮崎和臣氏（町田分区）を議長に選出して議事に入った。議案は次の通り。

- 平成26年度 活動、決算報告・監査報告
- 平成27年度 活動計画、収支予算
- 平成27.28年度役員改選

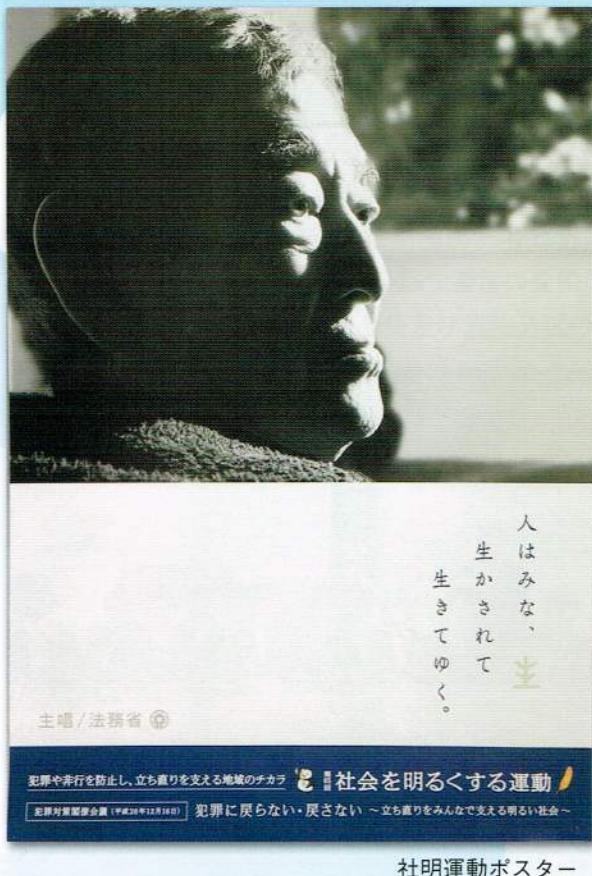
それぞれの議案について詳しい説明があり1～5号までの議案を全て可決した。また熊沢前会長の相談役就任への動議が有り承認された。小山副会長の閉会の言葉で総会は滞りなく終了した。

(広報部理事 市川 恵子)



## 主なご来賓

|                |        |
|----------------|--------|
| 東京保護観察所立川支部支部長 | 南元 英夫様 |
| 町田地区担当主任保護観察官  | 竹内 研児様 |
| 町田市教育委員会教育委員長  | 佐藤 昇様  |
| 町田市市議会議長       | 上野 孝典様 |
| 町田市教育委員会教育長    | 坂本 修一様 |
| 町田市地域福祉部長      | 須崎 信孝様 |
| 地域福祉部次長兼福祉総務課長 | 平林 隆彦様 |
| 福祉総務課事業係長      | 磯崎 悠様  |
| 町田公共職業安定所所長    | 後藤 洋一様 |
| 町田警察署生活安全課長    | 曳地 清一様 |
| 少年第一係          | 森 謙治様  |
| 南大沢警察署生活安全課長   | 実川 明美様 |
| 多摩地区保護司会       |        |
| 連絡協議会会长        | 森久保康男様 |
| 町田市青少年健全育成     |        |
| 地区委員会連絡協議会会长   | 宮島 栄一様 |
| 町田地区更生保護女性会会长  | 上谷さと子様 |
| 町田地区桐友会会长代理    | 中里 猪一様 |
| 町田地区更生保護事業     |        |
| 協力事業主会会长       | 細野 泰司様 |



社明運動ポスター



京王線多摩境駅（堺分区）



小山田桜台三和商店街（忠生分区）

# 第6 社会を明る ~犯罪や非行を防止し、立

7/1 駅頭

強調月間 2015年7月1日

## 社明運動の成功に向けて

地域活動部長 内田 純子

法務省が主唱した全国的な本運動は、毎年7月を強調月間と定め町田市推進委員会（委員長・石阪丈一市長）の計画のもと実施します。36構成団体の力を結集し、市内9か所で犯罪と非行のない、また犯罪に戻らない、戻さない安心・安全な地域を築くため、地域のチカラとして駅頭・街頭広報活動を実施します。市内中学生（8校）と先生方の参加・協力もいただきました。



小田急線鶴川駅（鶴川分区）



山崎団地商店街（忠生分区）

# 5回 くする運動

ち直りを支える地域の力～

## ・街頭広報活動

～7月31日までの1ヶ月間



JRターミナルプラザ（本部）



中央商店街街頭活動（本部）



### 副会長新任ご挨拶

中里 真二

#### 地区会の発展のために

今年度、副会長に選任され驚きと不安を抱えての船出となりました。

前期までサポートセンター長として多くの方々にご指導ご協力を賜り感謝申し上げます。

今期は、地域活動部とサポートセンターの担当となりました。

地域活動部は7月に行われる「社会を明るくする運動」の中心的活動をしておりますが、これまで市役所や警察など関係機関との連絡調整、学校との連絡など「社明運動」に関してはあまり係らずにまいりました。

地区会には不可欠な地域活動部の活動やサポートセンターの運用等、皆様からのお力添えを頂き、微力ではございますが、当地区会の発展のために会員皆様方とともに歩んでゆく所存でございます。

行政や関係機関団体など皆様方のご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



町田駅・カリヨン広場（町田分区）



小田急線玉川学園前駅「生徒の参加」（町田分区）



東急田園都市線南町田駅（南分区）

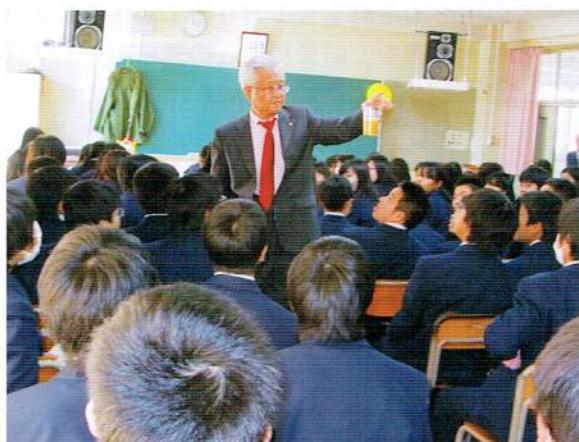
## 薬物乱用防止教室

忠生分区 石川 一郎

平成27年2月27日忠生分区主催の薬物乱用防止教室を町田市立木曾中学校にて開催致しました。

講師には一般社団法人横浜市薬剤師会横浜市学校薬剤師部会副部会長の山崎 健氏をお招きし、ご講義をいただきました。

講義には平本会長、小山副会長及び忠生分区の保護司合わせて14名が出席し、木曾中学校1年生約130名と教職員約25名に対して熱のこもった講義が行われました。



食い入る眼差しの生徒達

講義では、1. 脳と薬物（脳は気持ちいいことが大好きだから、簡単に気持ちよくなることは危険がいっぱい）2. お酒と薬物のホント（どういう人が依存性になるのか？依存性とは？依存症の親を持つ子供の心）3. あるシンナー少年の例（新宿へ今日もシンナーを買いに行く17才の少年の場合…）4. インナーチャイルド・ワーク（自分を好きになるトレーニング）について説明をいただきました。内容としては、お酒やたばこの害や身体への影響に始まり、薬物として、シンナー、覚醒剤、マリファナ、コカイン、MDMA等の作用や影響等の話のみならず、依存性の恐ろしさについて丁寧に説明されました。そして、子供の最も身近な危険としては飲酒を挙げ、飲酒開始年齢が低いほど依存性に陥る割合が大きくなることを説明されると共に、「中高生のうちは決して飲酒の習慣をつけてはならない。」と幾度となく指導されていました。また、山崎先生は、子供達の興味を持続させるために音楽や様々な小道具を使い、科学実験も取り入れて、とても

熱心に講義をされ、子供達も最後まで興味津々で先生の話に聞き入っていました。

## 賑やかな桜まつり

南分区 松沢 明治

当分区の最大イベントであります「恩田川さくらまつり」は、今春は年度をまたいで二週四日間に亘り実施しました。開催初日はまだ蕾が硬く、期間中に咲くか危ぶまれましたが、日を追う毎に咲き誇り、川沿いの人出は身動きが取れない程でした。

会員の積極的な協力と我々の先輩である桐友会の皆さんにもお手伝いいただき、売り上げ目標を達成でき更生保護施設「鶴舞会」に売り上げの一部を寄付することができました。また同時に実施した、社明広報活動も相当量の配布物もたりない程の盛況振りで、それなりの成果があつたと自負しております。

また今年も昨年同様新任保護司発掘のためアンテナをより高く張り情報の収集に努めます。今後とも会員各位のご協力を切にお願いします。



恩田川桜祭り

## 一致協力

町田分区 春山 幸子

“ザ・フェスタ栄通り”参加と“社会参加活動”を計画しています。町田地域で広報可能なイベントとなると大小様々あり、もう少し情報を集め、例えばキャピック製品販売など、広報活動プラスαが出来たらと考えています。3回目となる社会参加活動は、担当している対象者と一緒に、晚秋の青少年施設ひなた村で半日清掃活動をします。こちらも社会貢献活動が始まり、今後の活動をどうするか考える場にもなると思います。

定員の20名でのスタートです。40代が5人も

入りぐんと若返りました。ボランティア活動との両立は大変かなと心配しながらも、無理のない様に、長く活動してほしい。初心を忘れず、立ち直りを支える礎となってほしいと切に願います。



第2回分区会

## 活動と目標

鶴川分区 中岡 秀子

### 活動

5月に分区総会を行い会員一同の融合により平成27年度の計画を決議に至った。

### 第65回「社会を明るくする運動」

- 6月 「社明」 第23回鶴川地区推進委員会実施
- 7月 「駅頭・街頭」 広報活動へ全員参加予定
- 9月 「鶴川地域懇談会代表者会議」 実施予定
- 学校との連携・青少年健全育成委員会への参加
- 11月 第23回「鶴川地区地域懇談会」実施
- 12月 同報告書作成及び各団体へ配布予定

### 目標

- <月1回の役員会・分区会開催>
- ・分区自主研修の実施(分区内諸行事など立案)
- ・新任保護司発掘に分区全員で取り組むこと
- 全員で一致協力し体制を整える努力



鶴川分区活動の様子

## 退任保護司ご挨拶



堺分区  
鳩崎 了一

本年5月14日をもって保護司を退任いたしました。平成11年保護司の委嘱を受け、16年間、皆様のご援助を頂きながら大過なく保護司活動を続けてまいりました。

心より御礼申し上げます。

今後は、側面より更生保護活動に協力していきたいと思います。



堺分区  
井上 三夫

5月24日付で退任いたしました。八王子市にあります更生保護施設「紫翠苑」で保護司の委嘱を受け同施設を退職後、町田地区保護司会に異動、町田地区では6年余りではありましたが大変お世話になりました。また、サポートセンターでは相談員としてご指導いただきましたことを重ねて御礼申し上げ、退任のご挨拶といたします。



鶴川分区  
白杵 真瑜美

つつじの花の美しい季節、5月14日をもって任期満了となりました。保護司を拝命して20年、皆様の暖かいご指導を賜りました。その間関係機関の方々との出会いや対象者と向き合う中で、いつも笑顔で更生保護活動に携わってこられた事を心から感謝申し上げます。今後は側面から地域社会の活動に尽力していきたいと思います。皆様の更なるご発展を祈念申し上げます。ごきげんよう!!

## 追悼 米山方雄さんを偲んで

忠生分区長 原 雄三

この度は米山さんの突然の訃報をいただき、本当に驚いています。米山さんとは私の家内・老沼家の菩提寺で、米山さんのお父様からお付き合いさせていただき、一段と親近感を持っていました。つい先日お目にかかった時は、いつもの微笑をうかべて話された様子でしたのに残念でたまりません。謹んでお悔やみ申し上げます。合掌



### 新サポートセンター長 ご挨拶

#### 拠点づくりで一層の充実化を 村田 功

平成20年6月18日全国で僅か6ヶ所が、パイロット事業として全国の保護司会待望の更生保護活動サポートセンターとして誕生しました。以降年々と着実に設置する保護司会が増加して、現在では全国に400ヶ所余り設置されました。サポートセンター町田は先人の努力と、行政の協力により教育センター2号館に拠点を構えています。

サポートセンターは保護司会の事務所や会議室として活用することはもとより、協力事業主会や桐友会の事務処理も行っており、昨年からは「談話室」と称し、保護司同士の遭遇協議・新任保護司の支援などにも活用しています。拠点ができることでこれまでの保護司活動が一層充実し、さらに活性化しています。この拠点の下に保護司会が集い、関係機関・団体と連携を深め、情報やノウハウを集約し、発信することで個々の保護司の活動がさらに充実することを期待したいと思います。

### 新任保護司のご挨拶



#### 忠生分区 井上 淳子

5月15日付で保護司を委嘱されました井上でございます。新人研修を経て身の引き締まる思いですが町田は新保護司の方が私を含め5人もいらっしゃるので気強いくらいです。諸先輩方の背中を見ながら、又、さまざまなボランティア活動をしてきた経験を生かしながら活動をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



#### 南分区 井林 周英

この度、保護司として委嘱を受けました。南つくし野在住の井林と申します。外資系IT企業に長く務め、定年後は微力でも何か社会貢献をさせていただけるような場所はないものかと探しておりましたところ、保護司のことを知りました。右も左もわからない状態ですが、「罪を憎んで人は憎まず」の精神で諸先輩方のご教示頂きながら頑張っていきたいと思います。

今後ともよろしくお願ひいたします。



#### 南分区 老沼 正

私は、成瀬台在住の老沼正と申します。昨年先輩の方から声がかかり、軽い気持ちで保護司のことなど何も知らないで受けてしまいました。保護司を委嘱され新任研修を受けて仕事の重要性、責任の重さを感じて緊張しているところです。

委嘱された以上諸先輩方にご指導を頂きながら責任を果たしたいと思いますので宜しくお願ひ致します。



#### 鶴川分区 神藏 孝司

公務員を退職してから9年間町内会、神社等の地域活動を行って参りましたが、この度、地域保護司さんから強い誘いがあり務めることとなりました。数回の研修や分区会などを通じ日増しに責任の重さと大変さをひしひし感じております。先輩保護司さんに敬意を示すとともに保護司信条の公正と誠実を旨として全うしたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。



#### 忠生分区 都筑佐枝子

今年の3月に保育園の保育士としての勤務を終了することになり、これからは地域と関わったボランティアをしたいと考えていました。その時に、仕事でお世話になった方に声をかけていただき一步をスタートいたしました。研修を受ける度に重みと同時に不安感も増しております。諸先輩方のご指導をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 編集後記

「人の気持ちを考えることはむずかしいことだけれど、何よりも大切なことだと思います。わたしは、人の気持ちをしっかりと考えて行動したいと思います」(『更生保護』2015.5)という小学校5年生の力強い言葉が作文コンテスト最優秀賞受賞作品の一節にありました。

この『たより』も会員相互の、また関係諸機関皆様の気持ちを考え、伝える役割を果たせたらと願っています。今年度は下記部員が編集に携わります。ご支援よろしくお願ひ致します。

青柳さつき・市川恵子・榎本真幸・小川洋一・鬼頭明成・(広報担当副会長)諸墨賢一